

2020年 7月 27日

厚生労働省社会・援護局  
障害保健福祉部長  
橋本 泰宏 様

日本自閉症協会  
会長 市川 宏伸

災害により被災した障害者等への避難所における情報・コミュニケーション支援についての要望

日頃より、災害時における障害のある方々への支援にご尽力いただき感謝申し上げます。

災害時における障害のある方々への情報・コミュニケーション支援について、平成28年10月24日付事務連絡「災害により被災した視聴覚障害等への避難所における情報・コミュニケーション支援について」により、視聴覚障害者への具体的な支援方法や配慮等の例を情報提供されております。しかしながら、発達障害(自閉症スペクトラム)については、そのコミュニケーションに質的違いがあり、意思の疎通及び情報の処理に困難さがあるため、災害時における情報・コミュニケーション支援については、非常に重要なものとなります。ついては、情報・コミュニケーション支援について、発達障害(自閉症スペクトラム)への具体的な支援方法や配慮等の例についても情報提供に追記していただきますよう要望いたします。

避難所等における発達障害(自閉症スペクトラム)者に対する情報・コミュニケーション支援について(例)

- ・避難所等において、発達障害(自閉症スペクトラム)者への理解を求める。
- ・発達障害(自閉症スペクトラム)者に対する情報・コミュニケーション支援への協力を呼びかける。

<b>安否の確認</b> 被災地域の要援護者を確認	・放送やハンドマイク、プラカード等を使用し、避難所及び周辺地区で確認する他、支援者を介して、可能な限り個別に確認する。
<b>ニーズの把握</b> 障害特性に応じた支援内容	・支援者を介して、個別に対応し、必要な支援を把握する。 ・写真や絵カードを使用して、具体的に説明する。
<b>関係者との連携</b> 避難所等における活動	・行政、自閉症協会、発達障害者支援センター、障害福祉サービス事業所等が連携し、支援者を介して、ボランティアを効果的に活用する。
<b>避難所の説明</b> トイレや風呂、配給場所など	・支援者を介して、個別に対応し、必要な情報だけを伝える。 ・間仕切りを使用するなど、居場所をわかりやすく伝える。
<b>情報の共有</b> 食料・救援物資の配給など	・放送やハンドマイク、プラカード等を使用する他、支援者を介して、個別に対応する。また、必要な情報だけを伝える。 ・列に長時間並ぶことが困難な場合に、別途、個別に対応する
<b>機材・物品</b> 共用品・消耗品の手配など	・支援者を介して、個別に対応し、必要な物品を手配する。 (例として 簡易式トイレ、洋式便座を用意する。)